

会員近況

近況 千葉支部 平位信子

をして又、新しい出発という気分です。時間だつたが絵が描けるよう回復してきたことに感謝する気持ちになった。病院ではあと30分くらい手術が遅れたらどうなっていたかと言われて、そのこともラッキーだったと思うとのこと。そして絵を描いてきたこと、長年続けてきたことに改めて絵があつてよかったとしみじみ感じている。新しい生命をもたらしたと思つてこれからも頑張つていくつもりと決意を語つた。

さきたま支部 住佐記

美術教育を受けた事がない私が、人物画を描きたいと思つたのは絵画教室で最初に裸婦を描いた時のことでした。体の中を衝撃が走りました。人がこれほど美しいことを知らなかったからです。心臓の鼓動を抑え、震えながらモデルさんを描きました。

その時からでしょうか。裸婦はバラの花よりもずっと美しいと思つています。眩しくて、もったいない様なモデルさんを、心を込めて描くことにしています。

家事の合間に七年余り人物画を描いています。歳をとつて覚えも悪いのでなかなか上達しません。やつと思つようになつたのには最近のことです。それでも私は、高い目標を捨てないつもりです。(人は醜いが、人生は美しい)という言葉を残し若くして亡くなつたロートレックのように人の内面まで描けるようになりたいと思つています。

今年も仲間たちと一緒に、平山郁夫画伯が開いた夏の芸術学校に参加する

ことにしています。妙高山を背景に、カルデラ湖に生える白樺の原生林。私の意識はすでにそちらへ飛んで行つてしまいました。現実には悲惨です。暑い最中に家のことを片付け、庭の草取りを済ませ、夫の食事の手配をしなければならぬのです。

新日美のおなまに入れてくださつたことを感謝し、これからも絵を描き続ける所存でございますのでよろしくお願ひします。



(四十回展に出品した平位さんの作品)

支部展報告

埼玉西支部 支部長 高木登

第四十回支部展は今年も川越市立中央図書館で五月二十三日(火)より二十八日(日)まで開催しました。会員二十二名で百二十号の大作から四号程度の小品まで百十点の作品を展示しました。五日間の入場者数は三百六十六名でした。今年も勉強会「コーナー」をつくり月々の勉強会やスケッチ会の作品を展示し、日常の活動の様子も見てもらうこと

ができました。初日の午後から、たくさんの方々が会場に足を運んでくださり、作品を前にしてのギャラリートークが自然発生的に生まれて会場内はにぎやかでした。絵画論、構図、遠近法、明暗、風景と点景人物、画面のトリミング等々いろいろなことが話題になつたように思います。



また、今年初めての試みとして出品者による作品解説会を企画し実施しました。出品者一人ひとりが自分の作品の前で作品解説をするという試みです。22名の会員が一人3分という時間でしたが、自

分の作品について解説するというのはかなりの内容があるのだと感じました。会場内にアンケート用紙を置いていたのですが、その中に、出品者がギャラリートークをやられているところを見せたいと思いました。作者の思いや意図を知つて、作品を見ると違つて見えてきます。意見交換されていくすばらしいと思ひました。・・・という感想もいただきました。今年も各支部より遠路多数のご来場をいただきお礼申し上げます。

多摩支部 支部長 宮嶋ふみ子

今年の支部展は六月七日から十二日の六日間八王子中央図書館にて行いました。昨年の私設ギャラリーと違い、使用料も無料、また西八王子駅にも近く多方面に利点がありとてもよかつたと思

います。

会期中の入場者数も一日平均約八十人と多くの方が見て下さいました。図書館の利用者とか出品者が八王子市内の方が多いため知人や、サークル仲間が来て下さいました。今年も会員数が昨年より十名増え二十一名となり、新出品者の方々の関係者も「大」です。増員の理由は昨年の本展に出品され会員になられた方々のうち、当多摩支部に住所が該当する方を名簿からリストアップし、一人ひとりお電話にて打診しました。

皆様からとても協力的なお返事を頂き、その後順調に進みました。又前事務局長の桜井先生、色鉛筆画の保坂先生の暖かいご協力により増員する事が出来たと思います。又私と同郷の長野県の方も参加してくれました。

今回の会場は広々しており多種多様(油彩、水彩、工芸、パステル、色鉛筆画、工芸等)な作品が出揃い、来場者は飽きることなく興味深く鑑賞しておられました。とてもいい会場ができましたね」とお言葉をいただき来年度への意欲が湧きました。この中に本展に出品する方が数名おります。初めて支部展に出品された方のお友達や同じ教室の方です。支部への入会も期待でき増員に向け力が入ります。



立場上次年度に向け課題も多く残りましたが、ひとつひとつとしてまた心機一転本展に向けスイッチONです。

最後に遠路お越しくださいました皆様にお返しお厚くお礼申し上げます。